



高槻だより



- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の、友だちの、命を守る



子ども

子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざして。

高槻小学校の強みと弱み。



10月に入っても気温が高く、なかなか秋の風が吹きませんでしたが、最近ようやく朝晩と秋らしくなりました。しかし、急な気温差なのか、体調を崩す児童も多く、「マイコプラズマ肺炎」の流行もあるようです。来週からは、いよいよ運動会の練習も始まります。体調管理には十分気をつけて、子どもたちも保護者の皆様もお過ごしください。

さて、5月に「北九州学びと育ちアンケート」（4・5年生対象）を行った際に、学校生活や学習生活のアンケートが行われました。その結果が先日各学校に配布されました。結果を受け、本校の強みと弱みとして、下記のようにまとめましたのでお知らせします。

「強み」（％は、児童の回答率）

- 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。80％
- 授業や学校でのICTの活用 70％
- 先生はあなたのことを認めてくれていると思う、87.5％
- 学校に行くのは楽しい 81.3％
- 読書は好きですか 71.9％

「弱み」

- 学習の内容について、分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができている 62.5％
- 授業では課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。56.3％
- 自分には良いところがあると思う。59.4％

認めてもらえている回答は高いですが、「自分に良さがある」という回答は低く、子どもたちの自尊感情の低さが気になりました。そこで、別途追跡アンケートをした結果

家庭でよくほめられますか	（端数切捨て）
よくほめられる	31％
まあまあほめられる	40％
あまりほめられない	5％
ほめられない	24％

ほめられる理由・事由

- ・習い事でがんばったとき
- ・テストの点がよかったとき
- ・家の手伝い
- ・特技で頑張ったとき
- ・いやなことを頑張ったとき（注射・歯の治療など）

学校でも、家庭でも7割の子どものがほめられていると回答したにも関わらず、自尊感情が低い理由に、さらに分析すると多くの児童が「ほめられてはいるが、認められていない。」「大事な仕事を任せてもらえない。」「友達が相談してくれない。（頼りにされていない）」「特技や習い事をすごく頑張っても、親があまり喜んでくれない」。など、承認要求の高さがうかがえました。また、「ほめられるけど、親から怒られるほうが多い」という理由もありました。これらの結果、分析を受けて、次のことを職員と話し合い共有共通理解しました。

○個を価値づけして認める機会をもつ。

「〇〇さんの△△が、みんなを元気にしてくれたね」

「〇〇さんの意見で、学習が盛り上がったね。つないでくれて、学習が広がったね。」・・・など具体的に話す。

○自尊感情の向上・・・児童の良いところを名指しで価値づけ。保護者と連携して、学校生活や学習で見つけた良さ、家庭生活で見つけた良さを、「がんばりました。」ではなく、「〇〇を頑張って△△できました。」など、具体的に保護者と連携、共有する。

ご家庭でも、お子さんの頑張りの、得意なことを、たくさん声掛け認めてあげる機会をもっていただけるとありがたいです。よろしくをお願いします。

また、「学習の内容について、分かったことやよくわからなかったことを見直し、次の学習につなげることができている。」「自分から課題に取り組む」といった回答も低く、本校の課題です。授業では、

○学習計画を立て、掲示し学習の見通しをもたせる。（ノートを活用）

○学習の振り返りの視点をもたせる。→教師が振り返りを即時にフィードバックする

○主題研修、若年研修を得て、ほかの学級で取り組んでいるところを取り入れ、授業改善に生かそう。

と、共通認識しました。次号では、授業改善についても触れながら、子どもたちの学びと育ちについてお知らせします。